

APEX Multi-Cloud Data Services

必要なクラウドを、必要なときだけ

メリット：

- 高速かつシンプルなマルチクラウド アクセス
- データをクラウドから独立させることでクラウド ベンダーによるロックインを排除
- 複雑さを抑えてオンデマンドで拡張可能
- 完全なマネージド サービス – ネットワーキングおよびストレージ
- コンピューティング負荷の高いワークロードを効率的に実行しながら、エグレス料金を削減
- サードパーティーによる実証済みで拡張性に優れたマルチクラウド導入。[ESGテクニカル レビュー： Solving Big Data Challenges for File Services with APEX Multi-Cloud Data Services](#)

機能：

- パブリック クラウドへの高速かつ低レイテンシーの接続
- 耐久性に優れた永続的なクラウド接続型ストレージ
- マルチクラウド アクセスによるオブジェクトストレージ アーカイブ
- データのエグレス料金なし
- セカンダリー データ センターやインフラストラクチャの管理不要
- 予測可能なサブスクリプション ベースの消費モデル
- 24時間365日対応のサポート

ビジネスの課題

現在では、俊敏性、アプリケーション サービス、総所有コスト(TCO)の削減に向けたIT戦略の一環として、組織がパブリック クラウドを活用することがますます増えています。しかし、パブリック クラウドを運用することにより、ストレージ容量とパフォーマンスを効果的に拡張できないこと、高い運用コスト、ベンダー ロックイン、データのコンプライアンスと管理の問題などの課題を抱え込むおそれがあります。

デル・テクノロジーズは、耐久性の高い永続的なクラウド接続型ストレージとデータ保護によってこれらの課題に対処するソリューションを提供します。拡張性と高可用性を備え、幅広いサービス レベルの選択肢を提供するこのソリューションを活用することで、組織はコストを最適化し、データを自組織の管理下に置き続けることができます。

ソリューション概要

APEX [Multi-Cloud Data Services](#)を使用すると、ストレージ（ファイル、ブロック、オブジェクト）とデータ保護容量を、AWS（Amazon Web Services）、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、Oracle Cloudなどのパブリック クラウドに直接接続できます。サービスの場所と選択したクラウドの間に、高速かつ低レイテンシーの接続が確立されます。組織は、コンピューティング ワークロードとストレージをオンデマンドで利用するクラウド消費モデルと、ハイ パフォーマンスで拡張性に優れたデル・テクノロジーズのインフラストラクチャを、同時に活用できます。APEX Consoleを使用すると、単一のユーザー インターフェイスからマルチクラウド接続に関する製品を調達し、管理することができます。このソリューションは、分析、テストと開発、ディザスター リカバリ、Cyber Recoveryなどの目的で、要求の厳しいアプリケーションをパブリック クラウドに安全に移動または導入するのに最適です。

マルチクラウドがもたらす価値

ハイパースケール クラウド ベンダーが絶え間のない技術革新と新機能の開発に力を注いでいる現在、マルチクラウド アクセスは間違いなく競争上の大きな優位性になります。しかし、これらの機能を活用するためクラウド間でデータを移動させると、かなりの時間が必要になり、複雑さが伴う可能性があります。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、マルチクラウドに機敏に対応します。すべてのクラウドで可視化される単一のデータ セットを使用してニーズを迅速にとらえ、その機会をスムーズに活かしてビジネス上の成果を最大化できます。

組織は、データをクラウドから独立させることでクラウドベンダーによるロックインを回避できます。そのため、ベンダー変更時の高額な費用、移行に伴うリスク、データの移動に必要な作業時間などに煩わされることがありません。データセンターをクラウドに拡張することで、ユーザーはクラウドでイノベーションを実現し、クラウド環境を簡単に拡張してハイパフォーマンスワークロードをサポートすると同時に、リスクを軽減し、データの完全な管理を維持できるようになります。

データにマネージドサービスのアプローチを採用することで、コンピューティングとソフトウェアサービスに対するハイパースケーラーのアプローチを補完します。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、セルフサービス型のユーザーコンソールからクラウドの購入と管理ができる、利便性に優れたマネージドサービスです。



すべての成果に対応するサービスタイプ

APEX Multi-Cloud Data Servicesは、広範なデータタイプとユースケースに対応するオフプレミス、オフクラウドストレージ、データ保護サービスを提供します。APEX Multi-Cloud Data Servicesは、オフプレミスとオンプレミスの間に発生する、ブロック、ファイル、オブジェクト、バックアップ/データ保護に関するデータのギャップを埋めるのに役立ちます。データをオフプレミスに移動すると、データが保護されるだけでなく、ユーザーのオンプレミスで生成されるデータに対してクラウドベースの処理を実行できるようになります。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるブロックサービスは、シンプルなディザスターリカバリーのターゲットからリレーショナルデータベース、SAP HANAなどの最上位レベルのエンタープライズアプリケーションに至るまで、さまざまなアプリケーションに使用できます。高いストレージ性能を利用してアプリケーションを実行しながら、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるパブリッククラウドへの低レイテンシー接続のメリットを活用できます。ブロックストレージは、オンプレミスからハイパースケーラー（例えばVMware Cloud (VMC) on AWSなど）に移動されたVMwareアプリケーションに特に適しています。PowerStoreストレージアレイは、データをオフサイトに移動する際のレプリケーション先として、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるブロックサービスを使用することができます。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるファイルサービスは、ファイルデータを使用することで実装が容易になるシンプルなアプリケーションから、データ集約型の科学的/技術的アプリケーションまで、ほぼすべてのファイルデータのユースケースに対応します。テストや開発、I/Oの影響を受けやすいメディアや分析にクラウドベースの機能を使用すると、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるファイルサービスを有効活用できます。処理がほぼないアーカイブから、ライブサイエンス分析、AI/MLトレーニングのワークロードに至るまで、処理要件がペタバイト規模に達するファイルデータにも適しています。オンプレミスのPowerStoreおよびPowerScaleストレージアレイのどちらからも、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるファイルサービスを、オフプレミスの二クラウドレプリケーション先として使用できます。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるオブジェクトサービスは、アプリケーションとアーカイブの両方のユースケースに対応します。主なユースケースは、PowerMax、PowerScale、PowerProtectで生成されたデータの長期保存とアーカイブです。サポートされている各ストレージアレイは、PowerMax向けクラウドモビリティ、PowerScale向けクラウドプール、PowerProtect Data Domain向けのCloudTierなどの独自の機能セットを使用した、APEX Multi-Cloud Data Servicesへの独自の接続機能を備えています。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるオブジェクトサービスは、オンプレミスストレージのオフサイトのアーカイブとして使用したり、複数のパブリッククラウドに容量を提供するアレイ、つまりマルチクラウドの安価なレベルのものとして使用したりできます。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるオブジェクトサービスは、ハイパースケーラーで実行されるクラウドネイティブアプリケーション向けに、S3プロトコルで接続されるストレージを提供することができます。いずれの場合でも、APEX Multi-Cloud Data Servicesによるオブジェクトサービスではデータがハイパースケーラーに保存されないため、エグレス料金が最小限に抑えられます。

APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスは、オンプレミスまたはパブリック クラウドのどちらで生成される企業データに対しても、データ保護、管理、リカバリー サービスを提供します。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスは、オンプレミスとパブリック クラウドの全体に渡って組織が単一のネームスペースでデータとアプリケーションを保護する機能を提供することで、組織がパブリック クラウドに依存せずにデータを管理できるようにします。APEX Multi-Cloud Data Servicesによるデータ保護サービスでは、バックアップ、アーカイブ、長期保存に使用する単一の保存先を利用して、組織が選択したクラウド プロバイダーで実行されているデータを保護する機能を提供します。すべてのクラウドで重複排除処理されたデータの1つのコピーを使用して、オンプレミスのアプリケーションを保護し、ネットワーキングと運用をシンプルにします。組織はオンプレミスとパブリック クラウドごとにデータを個別に管理する必要がなく、一貫性のあるデータ保護/保管戦略を1つだけ持つことができます。

対象となるユース ケース向けのその他の機能

Microsoft Azure向けAPEX Multi-Cloud Data Servicesソリューションによるファイル サービスは、Azure ExpressRoute Localを使用した、より広い帯域幅とAzureクラウドへの低レイテンシー接続を提供します。このソリューションでは、アウトバウンド データ トラフィックのコストが発生しないため、ストレージへの大量の一時的な書き込みを必要とするワークロードに対して、Azureのアプリケーション サービスをコスト効率よく活用することができます。Cyber Recovery向けAPEX Multi-Cloud Data Servicesソリューションによるデータ保護サービスは、セキュリティ保護されたマルチクラウド対応のインフラストラクチャ上に構築された論理エア ギャップ ヴォールトで、重要なデータをサイバー攻撃から保護します。データのリカバリーが必要な場合は、データをヴォールトからAWS、Microsoft Azure、Google Cloud、Oracle Cloud、またはオンプレミス環境に復元できます。

Dell Technologies APEXを選ぶ理由

APEX Multi-Cloud Data Servicesを使用すると、アズ ア サービス型のデル・テクノロジーズ製インフラストラクチャが提供する、ビジネス継続性を実現する高可用性、データ レジリエンス、柔軟な拡張性などの利点を活用しながら、パブリック クラウドを基盤とするコンピューティング向けサービスの経済的メリットを享受できます。APEX ConsoleをAPEX Multi-Cloud Data Servicesの調達と運用に使用し、マルチクラウド データ接続の構成と管理を行うことができます。

デル・テクノロジーズのストレージおよびデータ保護が提供するネイティブ レプリケーション機能を使用すると、オンプレミスからクラウド内のワークロードへのデータの移行も容易です。既存のデル・テクノロジーズのファイル、ブロック、オブジェクト、データ保護のインフラストラクチャからのレプリケーションが可能です。オンプレミス アレイとの互換性によって運用上の整合性が確保されるため、オンプレミスで生成されるデータのクラウド対応が容易です。

可用性とサービス

Dell Technologies APEX Multi-Cloud Data Servicesは、次のパブリック クラウドプロバイダー向けに米国、英国、ドイツ、オーストラリアで利用できます。[AWS](#)、[Google Cloud](#)、[Oracle Cloud](#)、[Microsoft Azure](#)。



[の詳細はこちら](#)
APEX Multi-Cloud Data
Services



デル・テクノロジーズのエキス
パートに問い合わせる



他のリソースを表示



#DellTechAPEX で
会話に参加